

膵癌術後のオリゴ肺転移に対する肺切除に関する多機関共同後ろ向き観察研究 (JON2016-P)

1. 研究の対象

2009年1月から2019年12月までの間に膵がんに対して膵切除術が行われ、2020年12月31日までに肺転移に対し治療が開始された方。

2. 研究目的・方法

限られた臓器への少数遠隔転移はオリゴ転移と定義され、いくつかのがん種においてオリゴ転移巣に対して局所治療を行い長期生存が得られた報告がなされています。膵がんにおいても、術後の肺転移再発に対する標準治療は全身化学療法ですが、肺転移が片葉かつ少数であった場合は、病理診断学的な意味も含めた肺切除が行われたり、化学療法が行われている途中で肺切除が行われたりすることもあります。

本研究は、膵がん術後のオリゴ肺転移再発に対する治療の現状を明らかにし、オリゴ肺転移再発に対する肺切除の意義と肺切除を受けた症例における予後因子を明らかにするために、大阪国際がんセンターが主任研究機関の多機関共同後ろ向き観察研究です。

研究期間：病院長による実施許可日から2023年3月31日まで

3. 研究に用いる情報の種類

日常診療で得られた情報：診断名、年齢、性別、診療録、画像検査結果、病理結果、血液検査結果、等

4. 外部への試料・情報の提供

上記3.に示した診療情報をデータセンター（大阪国際がんセンター）へ提供しますが、これらの診療情報は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的に送付が行われます。また、研究に用いるあなたの情報は、特定の個人を識別することができないようにするための適切な措置を講じたうえで氏名・カルテ番号等をまったく別の管理番号（研究用ID）に置き換え、管理・提供され、個人を識別するための情報が記載された対比表は提供いたしません。

5. 研究組織

本研究は日本肝胆膵オンコロジーネットワーク（JON-HBP）による多機関共同後ろ向き観察研究です。

日本肝胆膵オンコロジーネットワークのホームページ：<https://jon-hbp.org/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

北海道大学病院 消化器内科 川本 泰之

住所： 札幌市北区北 14 条西 5 丁目

電話： 011-716-1161

<北海道大学病院の研究責任者> 消化器内科 川本 泰之

<研究代表者> 大阪国際がんセンター 消化器外科 高橋 秀典

<実施医療機関（共同研究機関）および研究責任者・研究機関の長>

別添「参加施設リスト」参照。

-----以上